

2018年春学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
キリストのからだとしての召会を建造するために、
キリストの豊富を享受する

メッセージ 8

マタイによる福音書第9章に啓示されたキリストの豊富を享受する

聖書：マタイ 9:9-17, 20-22, 36

I. 王国のために彼に従うよう人々を召すことにおいて、天の王国の王としての主イエスは医者として務めを行ないました——マタイ9:9-13：

- A. 裁く者の裁きは義にしたがっているのに対して、医者はいやしはあわれみと恵みにしたがっています。
- B. もしも主が裁く者として、あわれみであるわたしたちを訪れたなら、わたしたちはみな罪定めされ、拒絶され、わたしたちのだれも資格づけられず、選ばれず、召されて天の王国の民となっていなかったでしょう——8:2-16, 28-32. 9:2-11. 詩103:1-4. 107:17-22。
- C. しかしながら、彼は医者として務めをするために来て、わたしたちをいやし、回復し、生かし、救います。それは、わたしたちを再構成して、彼の新しい、天の市民とするためです。彼はそれらの人たちをもって、この腐敗した地に彼の天の王国を設立することができました。
- D. 「義人はいない、一人もない」（ローマ3:10）。すべての「義人」はパリサイ人たちのように独善的です（ルカ18:9）。王・救い主が来て召したのは、これらの人たちではなく、罪人たちでした。
- E. 医者として、主はおもにわたしたちを霊と魂においていやし、わたしたちの霊的な病をいやします。取税人や罪人は物質的に病んでいたのではなく、霊的に病んでいました——マタイ9:10, 13. 箴4:20-23。
- F. わたしたちが十字架につけられたキリストを経験し、十字架につけられた命を生きる時、復活したキリストはわたしたちのいやす力となり、主はわたしたちをいやす方となります——出15:22-27。

II. キリストはわたしたちの花婿です——マタイ9:14-15：

- A. 医者と花婿は両方とも楽しい人たちです。王・救い主はまず彼に従う者たちをいやし、それから彼らを付き添いの友とします。最終的に、彼は彼らを彼の花嫁とするでしょう。
- B. わたしたちは彼を医者として捕らえる必要があります、またわたしたちの花婿として捕らえる必要があります。前者は、わたしたちの命が回復されるためであり、後者は、わたしたちが彼の臨在の中で生きることの享受を持つためです——ピリピ3:12-13。

C. その霊は御父によって使いとして遣わされ、わたしたちをキリストの豊富をもって美しくして、キリストの花嫁とさせます——創第24章、エペソ5:25-27。

Ⅲ. キリストは縮ませていない布切れであり、わたしたちの新しい衣です——マタイ9:16、ルカ5:36：

A. 「縮ませていない」を指すギリシャ語は、「とかしていない、蒸気をあてていない、さらしていない、処理されていない、収縮されていない、加工されていない」を意味します。

B. 縮ませていない布切れは、処理されておらず、加工されていない真新しい一片の布としての、肉体と成ることから十字架までのキリストを表徴します。またルカによる福音書第5章36節の新しい衣は、十字架において処理された後の新しい衣であるキリストを表徴します。

C. キリストはまず新しい衣を作るための縮ませていない布切れであり、それから彼の死と復活を通して、神の御前で、わたしたちの義としてわたしたちを覆う新しい衣とされました。それは、わたしたちが神によって義とされ、彼に受け入れられるためです——15:22、ガラテヤ3:27、Iコリント1:30、詩45:13-14、啓19:8、エレミヤ2:32。

D. 古い衣に継ぎ当てした縮ませていない布切れは、収縮する力で衣服を引き裂くので、その破れをさらにひどくします。古い衣に縮ませていない布切れを継ぎ当てすることが意味するのは、キリストが地上での人としての生活において行なった事を人々がまねようとしても、十字架につけられたイエスを彼らの贖い主として信じず、復活したキリストを彼らの義として信じないで、神によって義とされ、神に受け入れられようとしません。

E. 彼らがキリストの人としての生活をまねることは、彼らの「古い衣」、古い天然の命によって生み出された彼らの振る舞いを「引き裂き」ます。

F. 王国の民は、このようなことはしません。彼らは十字架につけられ復活したキリストを彼らの新しい衣として取り、神の御前で彼らの義として、彼らを覆います。

Ⅳ. キリストはわたしたちの新しいぶどう酒であり、新鮮な皮袋に入れられるべきです——マタイ9:17：

A. 「新しい」のギリシャ語は、「時間において新しい、最近の、新しく所有された」を意味します：

1. 新しいぶどう酒は、新しい、元気づける力を伴って元気づける力としてのキリストを表徴し、わたしたちを力づけ、活気づけ、とても幸いにします——士師9:12-13。

2. すべての宗教は古い皮袋です。古い皮袋の中に入れられた新しいぶどう酒は、その発酵力によって、皮袋を張り裂いてしまいます。新しいぶどう酒を古い皮袋に入れることは、わき立たせる命であるキリストを、あらゆる種類の宗教の中に押し込めることです——マタイ9:14-15。

3. 宗教的であることは、神を礼拝し、神に仕え、神を喜ばせることを行ないませんが、その霊であるキリストから離れて、キリストを持たずにそうすることを意味します——参照、ガラテヤ1:14-16前半。

B. 「新鮮な」を指すギリシャ語は、「性質、品質、様式において新しい、慣れないもの、未使用である」を意味します：

1. 新鮮な皮袋は、新しいぶどう酒の容器としての地方召会の召会生活を表徴します。その新しいぶどう酒は、わき立たせる命であるキリストご自身です。
2. 個人のキリストは新しいぶどう酒であり、内側でわき立たせる命です。そして団体のキリストは新鮮な皮袋であり、新しいぶどう酒を外側で保つ容器です。団体のキリスト、すなわち召会は新鮮な皮袋であり、新しいぶどう酒としての個人のキリストを内容としています——I コリント12:12. 使徒9:5。
3. 召会の民の間で、新しい衣、新しいぶどう酒、新鮮な皮袋はすべて回復されました。わたしたちは団体的な方法でキリストを召会生活として持っており、皮袋である召会が神の究極のゴールです。

V. キリストは天的に支配された行為(彼の衣の房)を伴う方として啓示されています——マタイ9:20-22：

A. キリストの衣は、キリストの義なる行為を表徴し、房は天的な支配を表徴します——民 15:38-40：

1. ひもは縛ることを表徴し、青色は天的であることを表徴します。
2. したがって、青いひもは、神の子たちとしてのわたしたちの行為と振る舞いが、美しくあるべきであり、天的統治、制限、規制によって支配し、治め、縛ることの下にあるべきことを表徴します。

B. 衣は、人の振る舞いにおける美德を表徴します。主の衣は、彼の人性、人の美德の完全さにおける彼の完全な振る舞いを表徴します。

C. 主イエスの人の美德には、いやす力がありました。ですから、病気の女が彼の衣の房に触った時、彼の美德の力が彼女へと出て行ったので、彼女はいやされました。

D. キリストの天的に支配された行為から、いやす力となる美德が生じるのです——マタイ 14:36。

E. 主の衣に触ることは、実際には彼の人性における彼に触れることでした。彼の人性には神が具体化されていました(コロサイ 2:9)。そのように触ることによって、彼の人性の美德の完全さを通して、彼の神聖な力が彼に触った者の中へと注入されて、それが彼女のいやしとなったのです——ルカ 8:45-48. ヘブル 12:2 前半。

F. 近づきたい光の中に住む神が、奴隷・救い主の中で、彼の人性を通して触れることができるようになって、病気の女の救いと享受となりました——II コリント 4:13。

G. 押し迫る群衆は奴隷・救い主から何も受けませんでした、彼に触った者は受けました(参照、詩歌 412 番の 2 節と折り返し)。

VI. 主イエスはわたしちの牧者であり、わたしたちは彼の羊です——マタイ9:36. イザヤ 40:11. 53:6：

A. 初期の段階におけるキリストの牧養は、緑の牧場と憩いの水辺の享受です——詩 23:1-2. I テモテ 1:4. ピリピ 1:19 後半. ヨハネ 21:15. I テサロニケ 2:7. I コリント 12:13 後半。

B. 第二段階におけるキリストの牧養は、義の途における復興と造り変えです——詩 23:3. ローマ 12:2. ヨハネ 7:38. ローマ 8:4。

- C. 第三段階におけるキリストの牧養は、死の影の谷を通して、復活した霊なるキリストの臨在を経験することです——詩 23:4. II テモテ 4:22. II コリント 12:7-10.
- D. 第四段階におけるキリストの牧養は、復活したキリストのより深い、より高い享受です——詩 23:5 :
1. 主は、わたしたちの前にわたしたちの敵の前で、宴席を設けてくださいます—— 5 節前半. 参照、サムエル下 4:4. 9:7, 13. 創 14:18-20. ネヘミヤ 4:17.
 2. 主は、わたしたちの頭に油を塗ってください。わたしたちの杯は満ちあふれています——詩 23:5 後半. ヘブル 1:9. I コリント 10:16 前半, 21.
 3. 詩篇第 23 篇 5 節で、わたしたちは三一の神（宴席としての御子、塗り油としてのその霊、祝福の源としての御父）を持ちます。
- E. 第五段階におけるキリストの牧養は、エホバの家での生涯にわたる神聖な良きものと慈愛の享受です—— 6 節 :
1. 霊なるキリストの有機的な牧養の下で、わたしたちの命の日の限り、良きものと慈愛がわたしたちを追いかけて来ます。わたしたちは日々いつまでもエホバの家に住みます—— 6 節 :
 - a. 「良きもの」は、キリストの恵みを指し、「慈愛」は、御父の愛を指し、「追いかけて来」ることは、その霊の交わりを暗示します。こういうわけで、御子の恵み、御父の愛、その霊の交わりが、わたしたちと共にあります—— II コリント 13:14.
 - b. 手順を経て究極的に完成された三一の神に対する享受は、わたしたちを神の家（キリスト、召会、新エルサレム——ヨハネ 1:14. 2:21. I テモテ 3:15-16. エペソ 2:22. 啓 21:2-3, 22）における神に対する享受の中に導き入れます。わたしたちは「日々いつまでも」（現在の時代において、来たるべき時代において、永遠に）神の家に住みます。
 2. わたしたちは命の日の限り、神の家に住むことを求める必要があります——詩 27:4-8 :
 - a. エホバの麗しさ（愛すべきこと、楽しさ、喜ばしさ）を見つめます—— 4, 8 節. II コリント 3:18.
 - b. 神を尋ね求めて、わたしたちの日常生活のあらゆることを神に相談する——詩 27:4 後半. 参照、ヨシュア 9:14.
 - c. 神の避難所にかくまわれ、わたしたち自身を神の天幕の隠れ場に隠します——詩 27:5. 31:20.
 - d. 神によって上げられ、わたしたちの頭を持ち上げられます—— 27:5 後半-6 前半.
 - e. 喜びの叫びの犠牲をささげ、神に向かって歌い、詩を歌うのは、神の栄光のためです—— 6 節後半. ヘブル 13:15. ピリピ 2:11.